



Let's、火の用心！

(下吾川消防団 & 子ども夜警団 平成30年12月26日)

いよ

平成31年 冬号

議会だより

12月定例会

【特集】平成30年度委員会行政視察報告

先進地から学びそして提案へ！

2

常任委員会で審査

上・下水道に関する条例改正の住民説明は？

6

本会議をのぞいて
みませんか？

7人が市政を問う

9

【新企画】「議員を紹介します③」

17

議会報告会を開催します！

きらきら・人 い〜よ^⑬

傾聴ボランティアグループ「にじ」

18

を知っていますか？

No.55 平成31年2月1日発行

編集／議会広報調査特別委員会

先進地から **学び** そして **提案へ!**

平成30年度 委員会行政視察報告

本年度も各委員会において、各分野においてさまざまな施策に取り組んでいる先進自治体を訪問し、調査研究してきました。今回はその視察内容を委員会ごとに集約してご報告します。

議会運営委員会

【日程】 平成30年7月31日～8月2日

【委員】 ◎田中(裕)・○日野・田中(弘)・久保・武智・谷本・大野 (◎委員長 ○副委員長)

【調査項目】

予算審査特別委員会（組織体制と運営等）について

【視察の目的】

平成31年3月定例会において、**本市議会初となる予算審査特別委員会**を開催するにあたり、すでに委員会を立ち上げて活動している袖ヶ浦市と勝浦市の運営方法や組織体制、また課題や問題点などを調査研究するため視察した。

【視察先①】

そでがうら
千葉県 袖ヶ浦市

(人口) 63,676人

(世帯) 27,030世帯

(平成31年1月1日現在)



たなか(裕)委員長

予算審査特別委員会の設置により、これまで各常任委員会に分割付託していた当初予算案を全議員で総合的・一体的に審査することができ、情報の共有化が図られます。



袖ヶ浦市での視察

袖ヶ浦市の視察を終えて…

- 各会派から選出された予算審査特別委員(11人)は、決算審査特別委員も兼ねており、決算から当初予算までの審議がスムーズに行えるのは利点であった。
- 委員会終了後から議会最終日までの期日(3日)が短いため、委員長報告の作成はかなりハードスケジュールになる。
- 委員会では市長をはじめとする3役は出席しないこと、補足説明を委員会では一切行わないこと、また、質疑は1回につき2項目以内等の申し合わせを定めていることなどが他自治体と異なる点であった。

【視察先②】

かつうら
千葉県 勝浦市

(人口) 17,605人

(世帯) 8,675世帯

(平成30年12月末現在)



旗には「お迎え参上!」の文字が!



ひの副委員長

私たちの訪問に、勝浦市の議員さんたちは、お揃いのポロシャツとのぼり旗を手に熱烈的な歓迎をしてくれました。議員自らが観光議員連盟の事務局となるなど、その熱の入れようにはとても感心しました!

勝浦市の視察を終えて…

- 袖ヶ浦市と同様に、委員会終了後から最終日までの期日(1日)が短いため、委員長報告の作成は、さらにハードスケジュールとなる。また、勝浦市も委員会での補足説明は行わないとのことであるが、本市も行わない場合は、本会議での説明方法等を協議する必要がある。
- 委員会には、市長をはじめとする3役と全課長が常時出席しており、重要視していることが受け取れた。
- 本市においては、3役の常時出席は難しいと思うが、何らかの形で出席していただくよう理事者に要望したい。

総務委員会

【日程】 平成30年10月24日～26日

【委員】 ◎武智・○向井・若松・田中(裕)・佐川・高田・森川 【◎委員長 ○副委員長】

〔視察先①〕

北海道 ゆうばり
夕張市

(人口) 8,087人

(世帯) 4,755世帯

(平成30年12月末現在)

【主な調査項目】

財政再建と地域再生への取り組みについて

【視察の目的】

平成19年に全国唯一の財政再建団体(※)となり、現在は、総務大臣同意による財政再生計画に基づき、財政の建て直しに取り組んでいる夕張市の現状と、これまでの再建への取り組み、また今後に向けた地域再生の方策などを調査研究するため視察した。

夕張市の視察を終えて…

- 職員が少なく省エネを徹底しているため、暗く感じた。財政再建に関する説明を聞き、本市議会も市の財政状況についてチェック機能をしっかり果たさなければいけないと感じた。
- 職員数の大幅な削減による市民サービスの低下を懸念した。市民の理解、協力が一番だと思う。議会、監査委員の責任を強く感じた。
- 自治体の「現状維持思考、身を切る改革は苦手」という本質的体質は、夕張市に限ったことではない。状況の変化に対応せず財政破綻となると、最大の犠牲者は市民であることを肝に銘じ、本市も万全な対策をとることが肝要であるとする。

(※)財政再建団体とは、赤字額が標準財政規模の5%(都道府県)または20%(市区町村)を超えた破綻状態にあり、法に基づき財政再建計画を策定し、総務大臣の同意を得た地方自治体のことです。



たけち委員長



夕張市の研修は、他市議会(4団体)と合同で行われ、時間制で、質問も1団体1問と制限があった。

〔視察先②〕

北海道 やくも
八雲町

(人口) 16,685人

(世帯) 8,530世帯

(平成30年12月末現在)

【主な調査項目】

ふるさと納税について (八雲町ふるさと応援寄附金の取り組み)

【視察の目的】

八雲町のふるさと応援寄附金制度(ふるさと納税)は、近年飛躍的に伸びている。その内容は、豊富な海の幸、恵まれた自然環境の中で育てた農産品、広大な土地を利用した酪農による乳製品などを活用した記念品を寄附者に対し贈呈するものである。八雲町の取り組みが本市のふるさと納税事業に取り入れることができないか調査研究するため視察した。

返礼品を工夫して寄附を募ることも重要だが、いただいた寄附金を次にどう活かすかを考えさせられる有意義な視察でした。

八雲町の視察を終えて…

- 八雲町の宣伝の仕方などとても参考になった。本市も地元企業や団体の理解を得て、ふるさと納税を通じて特色ある産業の育成や振興を図るべきだと考える。
- 納税者の地域性において上位3都府県に集中しており、都会に対しての効率的なPR方法が必要と感じた。また、市町と一体化した事業者の対応力は、本市でも見習う点が大いにあると感じた。
- ふるさと納税にかかる職員の熱意や苦勞を知ることができ、大変有意義な研修であった。参考とすべき事項は、前向き思考、PR方法、寄附者のニーズ把握が早く、即対応する点と返礼品を揃える事業者の努力などであった。

むかい
副委員長



民生文教委員会

【日程】 平成30年10月3日～5日

【委員】 ◎谷本・○川口・久保・北橋・門田・平岡 【◎委員長 ○副委員長】

〔視察先①〕

すざか
長野県 須坂市

(人口) 50,849人

(世帯) 19,934世帯

(平成31年1月1日現在)

【主な調査項目】

保健補導員制度について

【視察の目的】

国が発表した平成27年都道府県別「年齢調整死亡率」で、長野県は男女ともに全国一低く、健康長寿県として話題になっている。その要因の一つとして、保健補導員制度が挙げられている。認知症予防に効果がある「**須坂エクササイズ(健康体操)**」の推進、脳血管疾患予防のための血圧測定や減塩運動のほか、禁煙運動として公会堂(公民館のようなもの)の全面禁煙化も保健補導員の働きかけによるものである。その保健補導員の発祥の地といわれる須坂市で保健補導員の活動内容や取り組みについて調査研究するため視察した。

須坂市の視察を終えて…

- 行政視察は観光協会が窓口となり、昼食の減塩料理とセットで視察を受け入れるなど、行政と観光の健康づくりに対する連携がうまくできている。
- 長期にわたり、なぜ、多くの保健補導員の体制が維持できているのか関心があったが、まず第一に「仲間づくりがしやすい環境づくり」、そして「学んだことを継続して実践」することができていることが主要因であった。これは本市でも取り入れることは可能であり、伊予市オリジナルの体制づくりを今後模索して提言していきたい。



たにもと委員長

〔視察先②〕

かが
石川県 加賀市

(人口) 67,207人

(世帯) 29,178世帯

(平成31年1月1日現在)

【主な調査項目】

「高齢者お達者プラン」による取り組みについて

【視察の目的】

加賀市では、第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画「高齢者お達者プラン(以下、お達者プラン)」を平成24年3月に策定し、二次予防事業についてもお達者プランに基づき各種の事業を推進している。注目すべき点として、介護予防基本チェックリストの送付から結果集計まで民間に委託したことにより、回答率が2割から6割まで上昇したことである。その効果により、要介護状態になるおそれの高い二次予防事業対象者に対して、必要なプログラムの紹介を行うことができ、要介護認定者数が減少するなど効果が表れている点に注目し、本市でも取り入れることができないか調査研究するため視察した。



かわくち副委員長

「お達者プラン」の概要版は、イラストを使った市の全体マップ(下のイラスト)もあり、市民にとってとても優しくわかりやすいものでした!



加賀市の視察を終えて…

- 加賀市で行う介護予防基本チェックリストの取り組みを参考に、本市でも早期の介護予防対策に活かすべきと考える。
- 加賀市の取り組みは、今後の人口減少や高齢化率、保険料の上昇など、さまざまな問題に対して、10年、20年先を考えて取り組んでいると思った。本市も同様に考えていると思うが、目の前の政策に捉われない柔軟な考えで、20年先を見据えた取り組みを行う必要性を感じた。

産業建設委員会

【日程】 平成30年10月23日～25日

【委員】 ◎大野・○吉久・水田・田中(弘)・正岡・日野 【委員長 ○副委員長】

【主な調査項目】

農工商等連携の取り組みについて

【視察の目的】

農工商等連携とは、農林水産業者と商工業者がそれぞれの経営資源や技術を互いに持ち寄り、新商品やサービスの開発・生産などを行い、販売ルートの開拓や需要の拡大につなげる取り組みである。これまで、新たな特産品やヒット商品が生み出されるなど、さまざまな成功事例がある。その中の一つである恵庭市の「**恵庭市農工商等連携推進ネットワーク**」の取り組みについて調査研究するため視察した。

〔視察先①〕

えにわ
北海道 恵庭市

(人口) 69,850人
(世帯) 33,317世帯
(平成30年12月末現在)



おおの委員長

恵庭市の**農工商等連携推進ネットワーク**は大変勉強になり、早速12月定例会で提案してみました。

恵庭市の視察を終えて…

○特に興味深かったのは、静岡県藤枝市と友好協定を結び、広域で農工商連携に取り組んでいた点である。両市の良いところを上手く連携させ、互いの市でイベント出展、情報発信等を行っているほか、共同でネットショップの立ち上げ、販路拡大に取り組んでいたことが印象的であった。

○同ネットワークを基盤として異業種間で交流を持ち、さまざまな商品開発や情報交換に役立っているとのことであるが、発足には行政が深く関わり、主導的な役割を担ってきたことがわかった。



1



2



3

【写真①②】特産品を活用した商品が恵庭市内の加工業者によって生産され、市内の道の駅等で常時販売されている。

【写真③】実際に道の駅で現地視察し、担当者から説明を受けた。商品の豊富さと規模に驚いた!

〔視察先②〕

ななえ
北海道 七飯町

(人口) 28,288人
(世帯) 13,716世帯
(平成30年12月末現在)



よしひさ副委員長

日本で初めて西洋りんごが栽培された七飯町の文化と特産品にちなんだ**シンボルマーク**(右)を施設の入口に設置していました!



【主な調査項目】

道の駅事業について(民間活力の導入)

【視察の目的】

平成30年3月末にオープンした「道の駅ななえ」は、当初町民の一部から、設置に懐疑的な意見もあったが、オープンして1年にも満たない10月末時点で、来客数が**80万人**、売り上げは**3億円**を超えるなど、結果的に観光客やビジネス客はもとより、地域住民にも愛される施設となっている。本市も8月に道の駅なかやまをオープンしたばかりであり、地域性や規模等の違いから全く同じ手法の運営は難しいが、商品開発や集客方法などの方向性において、少しでも本市に取り入れることができないか調査研究するため視察した。

七飯町の視察を終えて…

○新築ということもあり、設備・利便性・集客性は申し分なかった。加えて年間運営経費の補助とすべく最初から企業に貸し出す用地を整備しており、将来を見据えた工夫がなされていた。また、本施設建設にあたり当初は町民からかなりの反対意見があり曲折があったそうだが、粘り強い交渉を続けてオープンにこぎつけるなど、本施設を活かしていこうとする市の熱意は並々ならぬものであった。

○商品開発に関して、町の特産品を使い、世界でここでしか食べられないもの(例:ガラナソフト、王様しいたけコロッケ)を製造、販売しているのは大変素晴らしい取り組みであると感じた。

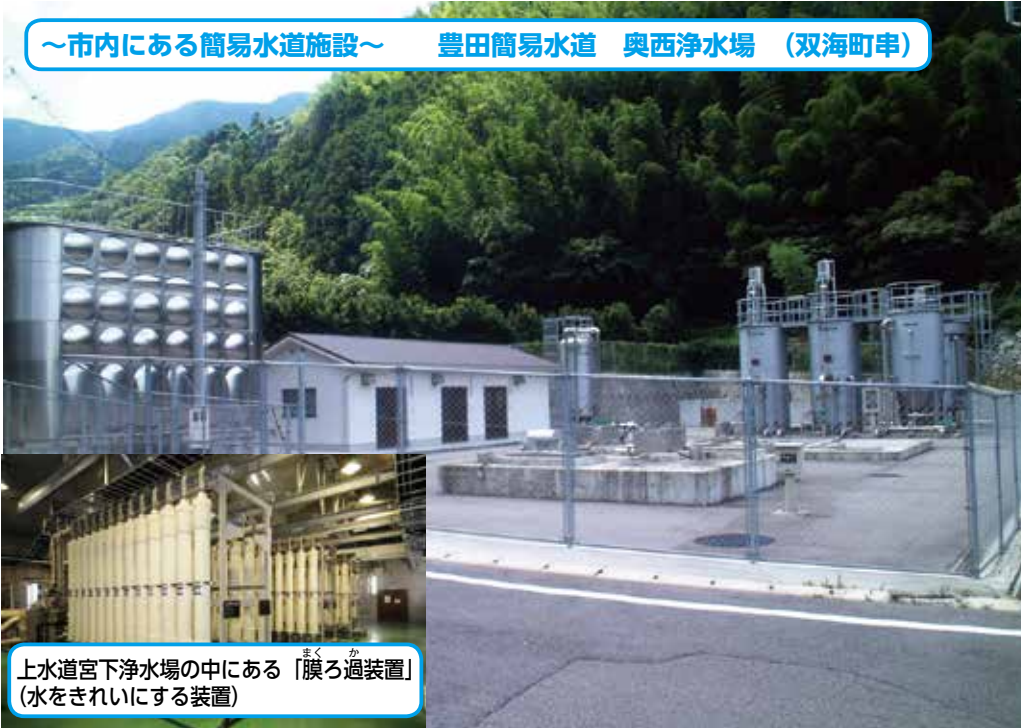
○施設の指定管理者に対して、理事等の幹部に町長、町職員等が関わっておらず、民間主導で運営していることを聞き、本市においても大いに学ぶべきであると感じた。



道の駅の外観(写真右)と内観(写真上)の様子。敷地面積はそれほど広くないが集客数と売り上げを聞いて驚きました!

上・下水道に関する条例改正の住民説明は？
まずは、広報区長会で説明する

～市内にある簡易水道施設～ 豊田簡易水道 奥西浄水場（双海町串）



上水道宮下浄水場の中にある「膜ろ過装置」
(水をきれいにする装置)

総務委員会

水道料金の改定

問 水道料金を値上げすることについて、各地区での説明会がないまま報道されたことで、市民からの問い合わせなども考えられるが、今後の周知はどうするか。

答 審議会委員として、中山、双海地区の広報区長の代表者も出席しているが、今後の周知については下水道使用料の改定とあわせ、広報区長会等での周知に努めたい。

水道課

どのくらい値上がりするの？

(例) 水道を2カ月で40 m³(※)使用した場合の料金

	現在 (2カ月分)	→	平成31年9月から (2カ月分)
			5,550円
上水道	5,140円	→	5,550円
簡易水道	4,960円		
飲料水供給施設			

(※) 一般世帯が平均的に使用する量

(例) 下水道を2カ月で40 m³(※)使用した場合の料金

	現在 (2カ月分)	→	平成31年3月から (2カ月分)
			5,720円
下水道 (伊予・中山)	5,050円	→	5,720円
農業集落排水施設 (大平・唐川)			

産業建設委員会

下水道使用料の改定

問 値上げに関する周知について、広報

紙やホームページ、また広報区長会において下水道と同様に説明することであるが、各地区へ出向いての説明は考えていないのか。

答 都市住宅課

各地区への周知については、広報区長会で説明後、区長等からの要望や要請があれば、その都度、説明会を開くなど、個別に対応したいと考えている。

しおさい公園
指定管理者の選定

問 今回プロポーザル方式で選定するにあたり、選定された業者より安い金額で提案していた業者もあったが、なぜこの業者が選定されたのか。

答 都市住宅課

現在、施設の維持管理として、年間800万円程度の費用が必要となっているが、一番安い金額で提示した業者の見積もりは、300万円程度であった。今後、施設が老朽化し、さらに修繕費等

が増えていくと推測される中、この金額では施設の維持管理が困難と考えたこと、また、選定委員8名が審査基準により総合的に勘案し、評価した結果、今回選定された業者が提示した金額は適切であると判断し、選定に至った。

民生文教委員会

障害児通所給付費の増額

問 当初予定していた給付額より、大幅な増額となっているが、具体的な要因は。

答 福祉課

28年度以降、市内4カ所に通所施設が新設されたことで、これまでよりサービスを利用しやすい環境が整備され、利用者が大幅に増加したことが増額の主な要因である。

市内の「障がい児通所施設」



特定健診未受診者 受診勧奨委託事業

問 これまで単年度で契約していた事業を来年度から3年間の長期契約とした理由は。

答 健康増進課

29年度までは、本市が作成した仕様書に基づいた入札により、単年度契約としていたが、業者から仕様書以外による独自の手法での受診勧奨の提

案などもあり、今年度からプロポーザル方式を導入した。現在、新たな手法による受診勧奨を行っているものの、単年度契約では、受診率の向上に向けた検証と改善を図る機会が得られないなどの理由により、3年間の長期契約を結ぶことに至った。

問 受診勧奨に関して新しくプロポーザルによって決定した業者の勧奨により、未受診者から、これまでと異なる反応などはあったのか。

答 健康増進課

過去に隔年で不規則に受診している人を人工知能で4段階に分類し、それぞれの特性に応じたハガキ等を2回発送したことににより、受診者の申し込みが増え、また多くの問い合わせも寄せられている。

議案等議員別表決結果一覧表

※佐川秋夫議長は採決に入っていません。

平成 30年第6回 (12月) 伊予市議会定例会 [会期: 11月26日~12月14日 19日間] ○:賛成 ×:反対 棄:棄権		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日	
議案番号		氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野鎮司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	田中裕昭	武智実	久保 榮	田中 弘	若松孝行	水田恒二		
陳情第3号	主要農作物種子法の復活を求める陳情書	議決結果	棄	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	12月14日	
平成 30年第5回 (11月) 伊予市議会臨時会 [会期: 11月12日 1日間] ○:賛成 ×:反対 棄:棄権		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日	
議案番号		氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野鎮司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	田中裕昭	武智実	久保 榮	田中 弘	若松孝行	水田恒二		
議案第64号	平成30年度伊予市一般会計補正予算(第7号)について	議決結果	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	11月12日

[賛否の分かれた案件のみ記載しています。その他案件についてはすべて全会一致で可決されました。]

門田 裕一 議員 (P15)

- 1 発達障がいに関して「トライアングルプロジェクト」（家庭と教育と福祉の連携）の推進について
- 2 お悔やみコーナーの設置について
- 3 **新産業の導入について**
- 4 **道路照明灯スポンサー事業について**
- 5 道づくりサポート事業について
- 6 市民と共に展望台を

森川 建司 議員 (P16)

- 1 **市街化調整区域等の見直しによる市全体の均衡ある発展を目指して**
- 2 松山圏域活性化戦略会議について
- 3 **いじめ、不登校ゼロを目指して**

※通告順（発言順）に掲載しています。

「本会議」をのぞいてみませんか？

議員一同、お待ちしております！



さがわ議長

本会議での「一般質問」の様子



議会では、市の政策に関することから、身近な地域のことまで、多くのことが話し合われています。特に本会議における「一般質問」では、市長等と議員が直接議論をする真剣な様子を傍聴することができます。傍聴は当日の受付だけで簡単にできますので、本会議場ならではの雰囲気、ぜひ体験してください。

傍聴席案内図（市庁舎5階）



傍聴者の声 アンケートに協力していただきました！

(Q1) また傍聴に来たいと思いませんか？ その理由は？

- (回答：2人)
傍聴にまた来たいと思った（2人）
(理由1) 応援している議員さんの活動状況が身近に感じられるため。
(理由2) 初めて聞いた「一般質問」の場に興味が湧いたから。

(Q2) 市議会に対する意見・要望は？

- (回答：2人)
・年4回の議会だよりだけでなく、回覧板などを利用して議会開催の周知をすれば、より市民に親しみやすい議会になると思う。
・議員の定数削減をすればよいのでは。

ご協力ありがとうございました。いただいたご意見を参考にこれからも「開かれた議会」を目指して頑張ります！



きたはし副議長

一般質問

7人が市政を問う

12月定例会では、7人の議員が25件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録（議事録）は3月上旬に市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムに掲載しますのでご覧ください。

伊予市議会



大野 鎮司 議員 (P10)

- 1 スマートフォンを使って楽しく健康ポイント
- 2 農商工連携について
- 3 小・中学校のエアコン使用について

『色付きの質問』

は、次ページ以降に掲載しています！

水田 恒二 議員 (P11)

- 1 障害者雇用について再度問う
- 2 議会における理事者の答弁
- 3 公用地の借地化解消
- 4 市民委員の募集に関して問う
- 5 道の駅等の市関連駐車場の使用方法

3月定例会の日程は2月初旬頃にホームページで掲載予定です。広報いよし3月号でもお知らせします。



おタイ

川口 和代 議員 (P12)

- 1 伊予市独自のエンディングノートを
- 2 COOL CHOICE（地球温暖化対策）の取り組みを
- 3 移住・定住に関する推進体制の整備
- 4 望まない受動喫煙の防止について

平岡 清樹 議員 (P13)

- 1 「ますます、いよし。ブランド」認定事業のその後について
- 2 犬・猫の殺処分に対する取り組みについて

向井 哲哉 議員 (P14)

- 1 ため池の現状及び今後の維持管理について
- 2 災害時の避難所・福祉避難所の開設体制等について

※通告順（発言順）に掲載しています。

スマートフォンを使った「健康ポイント事業」 市内企業との連携は？

大野 鎮司 議員



(答弁) 実績等を把握し、 順次協力を得ていく

問

去年の9月議会で提案した「スマートフォンを使った健康ポイント事業」について、早速この事業が予算化され、今年度に委託業者が決定されたが、本事業はどのようなものなのか。具体的な内容と市内企業と連携してポイントでサービスを受けられるようになってきているのか。また、スマートフォンを持っていない方への対応策は。

去年の9月議会で提案した「スマートフォンを使った健康ポイント事業」について、早速この事業が予算化され、今年度に委託業者が決定されたが、本事業はどのようなものなのか。具体的な内容と市内企業と連携してポイントでサービスを受けられるようになってきているのか。また、スマートフォンを持っていない方への対応策は。

答

事業内容は歩数に応じてバッジやスタンプをコレクションすることができ、その種類を増やしながら、自分の写真などをデコレーションして楽しんでもらうことができるものである。また、本市が定める五勇士のバッジデザインも収集することができ、面白いものになると期待している。

市内企業との連携について



3月1日から「スマートフォン」、4月1日から「ポイントカード」が利用できます。ポイントを貯めて、楽しく健康になりましょう！



おおの議員

「伊予市健康ポイント事業」は、歩数に応じてポイントが付与されます。貯めたポイントは、達成券（500円相当）に交換することができます。お買い物などに利用することができます。

小・中学校の エアコン使用

問

普通教室にエアコンを設置すること
が決定し、子どもはもちろん保護者も大変喜んで
いる。

答

地域性も考慮して
対応したい

エアコンを整備後、暖房には使用しないと聞いているが、中山などの寒い地域では、冷房より暖房のほうが必要ではないかと思う。また、時には冷夏や寒さが厳しい冬もある。地域やその時々々の季節の温度や湿度によって柔軟な使用方法をとることはできないのか。

エアコンの使用に当たっては、今回の整備目的である猛暑による健康被害の防止と学習能率の向上という観点を重視しながら、気温に応じた使用を前提に基本ルールを定めるとともに、地域性

も考慮して対応したい。

なお、現在の市内小・中学校における暖房器具の使用については、冬場は、気温が10度を下回り学校が必要と判断した場合に、ガスや灯油による暖房を行っている。もちろん、子ども達の体調管理や学習環境に影響を及ぼす可能性がある場合は、教室の状況に応じて使用時間や設定室温を柔軟に運用するなど、快適な学校生活が送れるよう努めている。

中山地域に勤務する教職員に確認したところ、石油ストーブなどの暖房器具のほうが暖かく感じ、屋外で活動したあとの冷えた手足を温めるのに便利とのことである。このため、冬場は既設の暖房設備を原則使用するものとし、寒さの状況や児童生徒の状態に応じて、エアコンの補助的・一時的な使用について柔軟に認めたい。

障害者雇用問題

応募資格の条件を削除しては？

水田 恒一 議員



(答弁) 今後の募集に関して条件は削除する

問

9月定例会で、官公庁の障害者雇用水増し疑惑に関して質問したが、本市においては、何ら問題はないとの答弁があった。しかしながらその障害者雇用の募集に関して、応募資格に不適切条件を付する事例がある。

本市の障害者雇用に対し、健常者には求めない条件を障害者に対して、応募資格に付記している事例などはあるのか。あれば、今後どのように対応するのか。

答

障害者雇用については、マスコミ報道のあと、直ちに本市の状況を確認したところ、30年度の臨時職員の募集案内に、「自力による通勤が可能で、介助なしで職務の遂行が可能な人」とする条件を付けていたため、今後の募集に際しては、これらの条件を削除する。

「道の駅」などにおける市関連駐車場の使用方法

問

近年、全国各地の道の駅などにおいて、キャンピングカーなどの大型車両が長時間、時には長期にわたって駐車する例があり、問題化している。駐車枠をはみ出して停めることで、はみ出た牽引装置等に接触、衝突する事例もあり得る。

道の駅を利用するのは市外の方も多く、そのような事故に遭い、愛媛県や伊予市に悪印象を持って帰っていただいては申し訳なく、できる範囲で対策を講じるべきでは。

答

安全対策を行うよう管理者に対し指導する。全国各地の道の駅等の駐車場において、キャンピングカー等大型車両の長期間駐車や駐車枠をはみ出して駐車するなどの問題化している事例があ

写真で紹介した「道の駅なかやま」だけではなく、「道の駅ふたみ」や下灘駅などでも同様の問題が想定されます。早急な安全対策を願います！



みずた議員



平成30年8月にオープンした『道の駅なかやま』

ることは承知している。駐車場利用については、利用者の善良なモラルをもって適正に利用していただくことが大前提である。そのことを踏まえながら、キャンピングカーに限らず一般車両においても、長時間駐車や

駐車枠をはみ出して停めるなど、他の利用者に対し、危険や迷惑だと判断される事案が見受けられた場合には、コーンの設置や貸し出しを含め、必要な安全対策を行うよう、管理者に対し指導する。

エンディングノート（終活支援ノート）

伊予市独自で作成しては？

川口 和代 議員



（答弁） 個人的な問題であるため作成しない

問

長野県須坂市で行った政視察をした際、

独自のエンディングノートを作成していることを聞き、購入してみた。また、無料配布している各自治体のノートも取り寄せてみた。

エンディングノートは自身の思いや希望を整理することにより、残された人生を考えるきっかけとなり、「家族の道しるべ」、「心の贈り物」になる。

自分史や家系図、大切な人へのメッセージ、医療や介護の希望、葬儀のことなどを記入できる本市独自のノートをつくってみてはどうか。また、そのノートの書き方のワークショップなどを開催し、高齢者や各年代の方とのコミュニケーションにつなげてはどうか。

答

エンディングノートは、すでに葬儀会社や書店等で、配布、

販売されており、インターネットで購入することもできるようである。一人一人の人生観、死生観、宗教観などは違い、まさに個人的な問題であるため、他人と共有したり、話したりすることに抵抗を感じる方も存在する。つまり、行政がエンディングノートを示した

須坂市のエンディングノート（写真左）は、「希望者」に1冊300円で配布していました。



かわぐち議員



高飾区のエンディングノート



須坂市のエンディングノート

り、ワークショップを開催したりするのはなく、自らの考えのもと、個人、家族の生活スタイルに合った、その方なりのエンディングノートを残していただくのが望ましい形ではないかと考えている。

望まない 受動喫煙の防止

問

30年7月に健康増進法の一部が改正（※）され、2020年4月に全面施行される。本市も具体的に受動喫煙の防止対策を考え、独自の喫煙ルールをつくってはどうか。

（※）「健康増進法の一部を改正する法律」の基本的考えとは？

- ①望まない受動喫煙をなくす。
- ②受動喫煙による健康被害が大きい子ども、患者等、特に配慮する。
- ③施設の類型・場所ごとに対策を実施する。となつています。



かわぐち議員

- 【具体的な防止策の提案】
- ①路上での喫煙を禁止する。
 - ②子ども、妊婦、患者のいる場所での喫煙を禁止する。
 - ③各施設の喫煙場所をチェックして、望まない受動喫煙の防止策を講じる。
 - ④飲食店に禁煙、分煙、喫煙可の掲示を義務づける。
 - ⑤職場での受動喫煙防止対策助成金を周知し、申請を促す。
 - ⑥望まない受動喫煙や禁煙に関する窓口をつくる。

【回答】

- ①法令等で規定されていないため、喫煙行為を制限することは難しく、意識の啓発や教育を通じた正しい知識の普及により、市民の理解促進に努める。
- ②市の施設においては、防止策は厳格に運用する。
- ③法の趣旨を理解の上、適正な対応を講じ、啓発に努める。
- ④県労働局が窓口であることを周知する。
- ⑤他市の状況等を踏まえながら検討する。



市庁舎内でもすでに防止策を進めています。

「ますます、いよし。ブランド」

認定事業者へのヒアリングは？

(答弁) 本年度ヒアリングを実施した



平岡 清樹 議員

問

28年度から開始した本事業は、最初にブランド認定された事業者は3年目を迎え、今年度で認定期間が終了することとなる。

本事業を立ち上げた経緯はすばらしいが、これまで事業者に対し、認定されたことによる効果や売り上げ実績のデータを確認するなど、ヒアリングしたことはあるのか。

答

本年、認定事業者へのヒアリングを実施した。その結果、「認定を受けたことによるメリットはあまり感じられない」、「PRを継続して行ってほしい」との意見があり、今後、SNSのさらなる活用など、PRや周知に注力していきたい。

認定前後の売り上げに関するデータについては、ヒアリングにおいて「特に大きな変化はない」、「微増となっているが、認定の影響とは感じ

ていない」と回答した企業もあった反面、「結果はすぐには出ない」との意見もいただいた。

問

認定企業がブランド認定してよかつたと実感してもらえようように、売り上げの数字や働く意欲に着目して、目標を持ち、結果を求めてスタートするために、新たな部署の設置も検討してみています。

答

県と連携して現体制で取り組みたい。新たなスタートについては県と連携した取り組みを検討し、さらに積極的なPRなどを引き続き、現体制で取り組みたいと考えている。



犬・猫の殺処分に対する取り組み

問

県における28年度の犬の殺処分数は761頭、猫の殺処分数は1620頭で、全国で毎年最下位あたりを推移している。本市は、殺処分場がないため、県動物愛護センターへの送致実績で、29年度は犬が13頭、猫が84頭で、県内20市町でワースト8位となっている。

答

本市で保護された犬や猫はどこに保管し、どのようなタイミングで送致されるのか。また、送致後に飼い主が現れた場合の対応は。

飼い主からセンターに直接照会してもらう。

飼い主が判明しない等で犬・猫を保護した場合は、伊予港務所横にある清掃員詰所内のケージにて保護している。それは屋内のため、近隣にも鳴

き声などの迷惑もかからず、対敵からの危険性もなく安全な環境と考えたからである。

送致については、県動物愛護センターが曜日をもって各市町を巡回しており、本市の詰所には毎週火曜日に、双海地域事務所には毎週金曜日に引取りに来ている。

また、送致後に飼い主から問い合わせがあった場合は、確認をしていたり、確認が必要があるため、直接飼い主から、センターに照会をお願いしている。なお、犬・猫を引き渡す際の送致書に迷い犬・猫と疑わしい場合は、その旨を記載している。

ちなみに、センターでは、県のホームページに「迷い犬・猫情報」として随時情報提供をしており、送致された犬については、送致日別に収容されている。

上三谷地区のため池被害

その後の改修状況は！

向井 哲哉 議員



(答弁) 国の災害査定後、復旧工事に取り組む

問

国が発表した全国のため池の被災状況は、直近10年間において、約70%が豪雨、約30%が地震に起因するものである。老朽化による堤体の沈下や漏水が生じているのに、未改修、維持管理が行き届かないために池が突然決壊する例や、豪雨、地震が引き金となり被災するといった例も懸念されている。

とりわけ、上三谷地区にある客池は、29年9月の台風18号、30年の7月豪雨と立て続けに被災し、周辺住民の方々も強い不安を感じている。今年7月の豪雨で、被害を受けた市内のため池の状況と、その後の点検で、危険と判断されたため池の修繕状況は。

答

ため池被害は上三谷地区の客池において、堤体法面が被災し、現在ブルーシートで被害拡大防止を施し、地元に

おいて水位を下げて管理していたが、今後国の災害査定を予定しており、その結果を踏まえたくえで、復旧工事に取り組んでいく。

ため池点検において、内法浸食が発生しているため池が1カ所あったが、受益者がいないことから、代表者に水を抜いてもらっている。

問

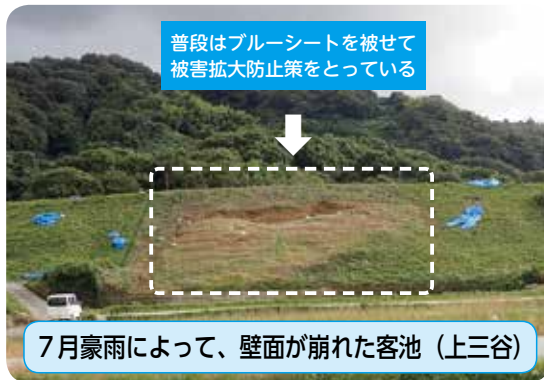
今後の維持管理の方策として、ため池の廃止も考慮する必要があると思うが、今後、存続させるため池をどのように区分するのか。また、管理の行き届かないため池の維持管理についての考えは。

答

維持管理は今後も継続支援をする。

本市としては、ため池の受益者で構成される団体の意思を最大限に尊重していくべきと考えている。よって、今後ため池代表者と連携して、継

続・廃止の協議調整をしながら進めていく。管理の行き届かないため池の維持管理は、各地区において交付金事業等により、ため池等の維持管理費用にも充当している。今後も引き続き、継続支援をしていく。



災害時における福祉避難所への周知

問

北海道胆振東部地震の際、札幌市で福祉避難所を開設しながら、混乱を避けるため公表をしていなかったこと

答

適切な対応に向けて備えている。

が新聞報道されていた。本市における福祉避難所開設時の周知方法や避難所から福祉避難所への移送方法は。福祉避難所開設時の周知については、これまでの災害対応時にも一般の指定避難所と同様に公表してきた。また、要配慮者の移送についても地域防災計画や避難行動要支援者避難支援全体計画等に基づき適切な対応に向けて備えている。加えて「伊予市福祉避難所設置・運営マニュアル」の作成に取り組んでいるところであり、平常時から必要となる取り組みや災害発生直後から実施すべき取り組みなど、災害時に福祉避難所を円滑に設置・運営するために必要な事項を、本市の状況に適した内容でまとめる予定である。

『道路照明灯スポンサー事業』

活用を検討しては？



門田 裕一 議員

(答弁) 他自治体を参考に前向きに検討する

問

山口県宇部市で取り組んでいる「道路照明灯スポンサー事業（道路照明灯の設置費等をスポンサーに負担していただく代わりに、スポンサー名の入った表示板を設置するもの）」は、本市においても、さまざまな要因で照明灯の設置が進まない地域に有効な事業である。この事業の活用を検討してはどうか。

答

現在、本市が管理している道路照明灯は107基あり、これらの道路照明灯はさまざまな外的要因により劣化が進行していることから、安全性を維持し、適切な維持管理を行う必要がある。

そのため、29年に道路照明灯個別施設計画を作成し、計画的に予防保全的観点で維持管理を行っているが、照明灯の建て替えや部材の交換等、今

後さまざまな経費が発生してくる。

スポンサー事業を行うことで、維持管理費が軽減できる。また、スポンサーとなった企業、団体等が、照明灯の球切れや支柱部分の破損など、維持管理上支障となる事象を発見した場合に市に報告していただけるなど、迅速かつきめ細かい対応も期待できる。

他の先進事例の取り組みを参考に前向きに検討を行いたい。



新産業（シェアリングエコノミー）の取り組み

問

佐賀県多久市が実施しているシェアリングエコノミー（※）を参考に本市においても地域経済の活性化につながるようなサービスを取り入れることはできないか。

答

導入の是非も含め緻密な調査研究をする。

シェアリングエコノミーについては、全国の自治体が抱えている課題解決のための新しい社会的な仕組みとして、取り組みが始まったところであると認識している。

この取り組みは、自治体だけで行ってきた「公助」から、企業や住民が共に助け合う「共助」へ転換していくものであることから、今後、本市の課題解決に係る手法の一つとして導入の是非も含め、緻密な調査研究をしたい。

(※) シェアリングエコノミーとは？

眠っているさまざまな資産を社会で共有し、活用していく、つまり所有から共有ということです。資産を共有するためにインターネットやアプリを基盤として使われるという点も大きな特徴であります。



かどた議員

「シェアリングシティ」を宣言している 多久市を視察しました！

多久市では、仕事をしたくても環境上できない方のスキルを高め、仕事の受注機会を増やすための研修や交流ができ、仕事ができるスペースと託児スペースを兼ね備えた『多久市ローカルシェアリングセンター』を設立しました。ウェブ上の仲介サービスであるクラウドワークスを通じて業務を行い、実際に携わる市民の育成をして、今では子育て中の主婦から70歳代までの幅広い年齢層の市民が、時間や場所にとらわれず働いています。

現在の進捗状況は？

森川 建司 議員



(答弁) 今以上の開発緩和は考えていない

問

市街化調整区域等
の見直しによる市

全体の均衡ある発展を目指すべく、10年前、現市長が議員時代に同趣旨の質問をしたが、現在の進捗状況と、市長としての5年半の間、開発基準の拡大や本市への権限移譲などに対して、どのように取り組んだのか。

答

本市の都市計画は、松山市、東温市、松前町、砥部町による3市2町の松山広域都市計画区域において、法に定めるほとんどの事業計画が定められている。22年、23年に県と協議の結果、19年に改正された都市計画法が、コンパクトなまちづくりを目指すものに大きく方向転換を行なった等の理由により、今以上の開発緩和は考えていないようであった。それぞれの自治体で、市街化調整区域の開発を目指す意見は分かれてお

り、松山広域都市計画区域としては、統一した方針を樹立させる必要があるため、今しばらくの間をいただきたい。

開発基準の拡大や本市への権限移譲の具体的な取り組みについて、現在国では、コンパクトなまちづくりに向けた施策が展開されており、率直に滞っていると云っても過言ではないが、その一方制度を活用して、ウェルピア伊予の敷地を市街化区域へ編入した。開発基準を緩和することは、市街化調整区域の一定程度の活性化も期待できるが、現時点では、実施時期等、その詳細は見通せない部分がある。

問

29年度市街化区
域人口は、前年か

ら422名増え、目標値を96名上回っているが、市街化調整区域や都市計画区域以外の人口推移は。

各区域の人口推移

	市街化調整区域	都市計画区域外
平成27年度	12,251人	9,303人
平成28年度	12,114人	9,159人
平成29年度	11,642人	8,900人
平成30年度	11,457人	8,662人

答

両区域とも人口は減ってきている。(左表参照)

いじめ、不登校ゼロを目指して

問

「誰もが輝く伊予市」を目標に掲げ

ている中で、増え続けるいじめや不登校は大きな問題であり、見過ごせない損失でもある。

市内小・中学校におけるいじめ、不登校の件数と対策、生活習慣の見直し、また、家庭教育支援条例を制定し、市を挙げて、いじめや不登校ゼロを目指しては。



もりかわ議員

市街化調整区域と都市計画区域外は、急激な右肩下がりです！

答

学校ではさまざまな取り組みを行っている。

29年度におけるいじめの件数は、小学校18件、中学校20件であり、不登校の件数は、小学校2件、中学校23件である。

学校では、校内外の研究による教職員自身の資質向上、アンケートや教育相談、日常の観察等による子どもたちの現状の把握、集会活動や異学年交流等による人を思いやる心の醸成等、いじめ、不登校ゼロに向けてさまざまな取り組みを行っている。

家庭教育支援の条例化に向けては、重要性に鑑み、事業推進に努めているが、目的や特別な配慮を必要とする子どもへの対応等といった内容について、まだまだ議論のあるところであると認識している。今後は、全国的な流れや近隣自治体の取り組み状況を見ながら研究を重ねたい。

連載企画 第3回目

伊予市の議員を
紹介します！

- ①：中山町中山西
- ②：ゴルフ
- ③：政治に関する仕事
- ④：特色ある伊予市（産地）づくりを目指し、地域の産業を守るため、これからも邁進します！ぜひ「道の駅なかやま」に遊びに来てください！



たけち みのる 議員
武智 実

- ①：中山町中山卯
- ②：園芸
- ③：自動車修理屋
- ④：「一期一会」の出会いを大切に、夢・生きがいの持てる伊予市づくりに努めます。



たなか ひろむ 議員
田中 弘

- ①：本郡
- ②：写真撮影・旅行
- ③：中学校（社会科）か高校（地理）の教師
- ④：議員生活32年、議会ごとに市民の皆様の願いを議会に届け（123回）、3カ月ごとの市民相談（105回）で1,800件弱の相談を受けました。終始一貫頑張ります。



みずた こうじ 議員
水田 恒二

- ①：中山町中山丑
- ②：ゴルフ・旅行
- ③：野球選手
- ④：「議員である前にひとりの人間であること」をモットーに皆さんと対話して、伊予市のために頑張ります！



くぼ さかえ 議員
久保 榮

- ①：双海町下灘
- ②：スポーツ（体を動かして汗を流すこと）・ウォーキング
- ③：海上保安官
- ④：市民が主役のまちづくりを目指します。市長と市議会は独立、対等の立場にあり、議員として市政発展のため、活動していきます。



わかまつ たかゆき 議員
若松 孝行

- ① 住まい
- ② 趣味・特技
- ③ 子どもの頃の夢
- ④ 市民の皆様へ！

議会ホームページに議会に関するいろんな情報があるので、ぜひそちらも一度のぞいてみてね！



おタイ

議会報告会を開催します！

「開かれた議会」を目指して、議会報告会を下表のとおり開催します。今回、伊予地区においては初の4地区合同開催で行います。※双海地区は座談会形式ですすでに開催していますので、今回の開催はありません。

地区名	開催日	時間	場所
4地区合同 〔郡中・北山崎 南山崎・南伊予〕	平成31年2月24日（日）	午前10時	市役所4階 大会議室
中山地区	平成31年2月7日（木）	午後6時	中山地域事務所 第一会議室



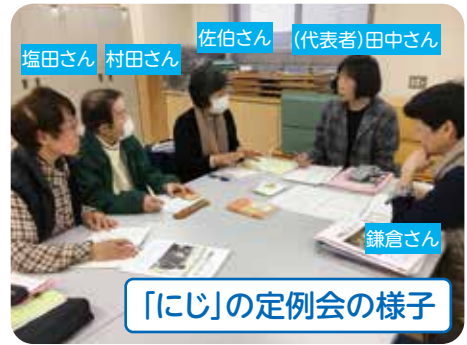
たなか 議員改革特別委員長

どちらの会場でも参加は自由ですので、ご近所お誘い合わせの上、お気軽にお越しください。議員一同お待ちしております！

きらきら・いよ 第16回

伊予市で活動している 傾聴ボランティアグループ 『にじ』を知っていますか？

傾聴とは
“耳を傾けて意識して話を聴く”
ことです。



『にじ』の定例会の様子

●どのような活動を？

10年前に傾聴ボランティア講座を受講した中の10名が、傾聴対象者の心に「にじ」をかけてあげたいという思いで立ち上げました。

現在は主に6名で活動しており、メンバーが2人1組で施設や個人宅を訪問し、毎月1回1時間の傾聴活動をしています。そして、毎月第1金曜日の午後1時に定例会（写真右上）を開き、訪問結果を報告し合っており、困ったことや問題点などを検討し、次回の訪問予定を確認しています。

●活動を通じて

傾聴対象者の心に寄り添い、傾聴することで、自己啓発にもつながると思います。こちらも学び教えていただいているという感謝の気持ちです。普段の活動では、傾聴対象者と共感し、不愉快な言葉は避け、笑顔で楽し



傾聴している最中に手を取り合うシーンも。自然と笑顔がこぼれます。

グループホームの職員は日中の業務が忙しくて、ゆっくりお話を聴く時間も少ないため、ボランティアさんに来てもらっていつも助かっていると、とても感謝していました！



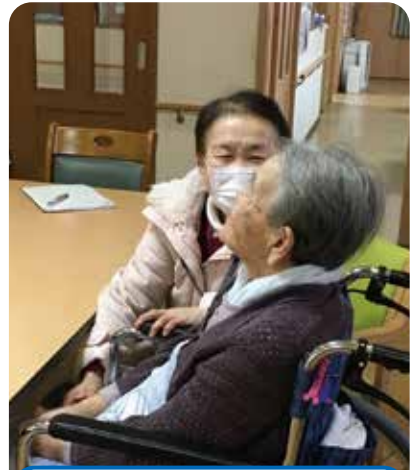
ひらおか議員

「うんうん」「すばらしい」「よかったねえ～」と笑顔で耳を傾ける。とてもあったかい気持ちになりました！



かわぐち議員

い時間を過ごせるように心掛けています。もちろん守秘義務は必ず守ります。



今回は「グループホームユニットいよ」で活動しました。

●今後の目標は？

傾聴ボランティアの存在をたくさんの人に知っていただき、仲間を増やして、ボランティアの活動範囲を中山地区や双海地区にも広げていきたいと思っています。

私たちと一緒に 活動してみませんか？

興味のある方は、伊予市ボランティアセンター（総合保健福祉センター内）へお問い合わせください。

（電話）（089）982-0393

編集後記

明けましておめでとうございます。今年は平成最後の年、また新たな時代の幕開けとなります。5月から新元号となりますが、これまで日本最初の元号「大化（645年）」から「平成」まで247元号がありました。実はこれまでに元号に使われた漢字は「72」しかなく、何度も同じ漢字が使われています。新元号が何になるのか興味は尽きませんね！ちなみに、「安」は多く使われた漢字ですが、今回は「安」倍内閣ということで、それは避けるのでは？と私は勝手に予想しています。皆さんも今回の改元を前に、元号について予想してみたいかがですか？（元号マメ知識でした。）

議会広報調査特別委員会 〔委員長〕平岡清樹 〔副委員長〕向井哲哉
〔委員〕北橋豊作 大野鎮司 川口和代 吉久俊介 森川建司



むかい議員